

文芸

俳句

銃声の間遠まどろにきこゆ里の昼

伊藤 敬子

松茸の香り脳裏しめじはに湿地喰はむ

今関満喜子

長き夜や過去を旅する深夜便

魚地 照子

行く秋や岩にとけこむ摩崖仏

宇野とし子

単行本もみじはさんで脇かかえ

加瀬 俊昭

年毎に秋短かしと思いきり

川島 通則

星月夜一弧度地球の回りけり

向後 寛

晩鐘や刈田の匂ひ風に乗る

佐瀬 輝夫

狭庭にも初冬の光満ちあふれ

土屋美枝子

孤高なる鳶の日和や里の秋

土屋 義昭

長き夜の沁みる語り手深夜便

西崎さち子

飛ぶ用意して風待ちの草わの絮

藤田 雅夫

短歌

やぶこうじ赤き実根元に繁らせて
秋日あきに凜と菊の花咲く

越川 義則

あの頃を思ひ出すなり酒の友

話はなに咲さるた笑顔満開

小松 藤男

ふんわりとゆつくり流る雲眺む

地図ちずの様なる形に見えたり

内藤 くに

茄子トマト胡瓜の苗を植ゑたるも

期待たのしみはずれに夏は終りぬ

田崎 尚美

線香せんこうを手向けるは無きか不動明王ふどうめいおうの

香台かうだいの中かたつむりあて

西山満里子

銀色に光る秋刀魚の瑞みずし

小振りなれども良き値付きをり

押尾 輝子

この歌は小学二年の頃だった

流れているのは「悲しき口笛」

斉藤 博

校庭の部活の音が風かぜに乗り

我が家に届くは久しぶりなり

水須 俊

柿の枝撓たがわせる程あまた生る

小さき実なれど当り年なり

加瀬 弘子

親族うかららの帰りし夕べ濡れ縁ゆかりに

ひとり見てをり夕焼け雲を

芹川 初子



消費生活 契約には契約書が必要なの？

契約相談で、「契約書に印鑑を押していないのだから、契約にはなっていない」という言葉をよく耳にしますが、一部の例外を除き、『当事者の合意』で契約は成立します。契約書や印鑑の有無は関係なく、口頭だけで契約となるのです。例えば、八百屋さんで野菜を買う時に「これ買います」、「毎度、ありがとうございます」といった言葉のやりとりが契約となり、契約書がなくても、この口約束が法的拘束力を持つこととなります。

最近、電話勧誘等でよく分からないまま曖昧に返事をしてしまうと契約になってしまうことがありますので、必要のない時は、はっきりと断りましょう。

問消費生活相談室 毎週火曜日 午前10時～午後4時
☎84-1233

「消費者ホットライン188」とは？

消費者ホットライン188は、お近くの消費生活センター等の消費生活相談窓口を案内することにより、消費生活相談の最初の一步をお手伝いするものです。

「悪質商法等による被害にあった」、「ある製品を使ってけがをしてしまった」などの消費者トラブルで困っていることはありませんか。

また、新型コロナウイルスに関連したトラブルや災害に関するトラブルで困っていませんか。

そんなときは一人で悩まずに、全国どこからでも3桁の電話番号でつながる消費者ホットライン「188(いやや!）」にご相談ください。専門の相談員がトラブル解決を支援します。